

グローバルPBL1, 2(受入)の実施

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2023年10月30日 ～2023年11月07日	日本	キングモンクット工科大学ト ンブリ校	・電子工学科、電気工学科 ・学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生12名、学生バイト2名、 教員3名 (キングモンクット工科大学ト ンブリ校) 学生11名、教員1名	小池 義和(電子工学科) 横井 秀樹(電子工学科) 加納 慎一郎(電子工学科)



最終発表での実演

今回の受入PBLプログラムは、2015年度からキングモンクット工科大学トンブリ校(KMUTT)と共同実施している双方向PBLの後半の内容である。PBLはタイで約2週間、日本で約2週間の期間が設定されており、今年度は8月27日～9月6日に派遣が、10月29日～11月7日に受入が実施された。単位は受入プログラムが共通科目の受入グローバルPBL1または2として付与される。受け入れプログラムではKMUTTからは参加学生11名の他に、教員1名が参加した。本年度のテーマはSDGsに関連させたテーマで設定しており、タイから帰国後、お互いに連絡を取り合い、芝浦で実演ができるよう、例えば実演に使用する朝顔を育てるなど準備していた班が見られた。今回はイベントは浴衣ワークショップのみとし、PBLプロジェクトワークショップに十分な時間が取れるようなスケジュールとしている。最終発表の後に行われたクロージングセレモニーでは、TAからタイの学生にプレゼントが配られて、非常に深い交流が育まれた。



ワークショップの様子



浴衣ワークショップ



TAによるガイダンス